

事業評価の結果（内容評価項目）

福祉サービス種別：保育所
事業所名：辰野町新町保育園

長野県福祉サービス第三者評価基準の考え方と評価のポイント、評価の着眼点【保育所】内容評価項目に係る判断基準による

○判断基準の「a、b、c」は、評価項目に対する到達状況を示しています。
「a」評価・・・よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態
「b」評価・・・aに至らない状況＝多くの施設・事業所の状態、aに向けた取組みの余地がある状態
「c」評価・・・b以上の取組みとなることを期待する状態

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点（実施している場合は■）	講評
A	1 保育内容	(1) 保育課程の編成	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	b)	■ 1 保育課程は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとらえて編成している。	[取り組み状況] 保育課程は、園の理念や方針・独自性を踏まえ、保育目標達成に向けての計画となっており、それを基に各年令別の年間指導計画を作成し、計画に沿った養護、教育を提供している。 [検討課題] 保育課程はその時の子どもの心身の発達状態、地域の実態、とりまく環境等を考慮した計画が求められるので、年間指導計画は定期的に評価を行い、妥当性や改善点等について話し合い、次の計画に結びつけることが大切と思われる。
					■ 2 保育課程は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて編成している。	
					■ 3 保育課程は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して編成している。	
■ 4 保育課程は、保育に関わる職員が参画して編成している。						
□ 5 保育課程は、定期的に評価を行い、次の編成に生かしている。						
(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	b)	■ 6 室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を、常に適切な状態に保持している。	[取り組み状況] 2クラスを一つに開放してできる造りで、その年の児童数に合わせて開放するなど十分な広さを確保している。また、エアコンも設置され快適な環境となっており、排泄スペースも使い易く、障害者用トイレ・保護者用トイレも設置されている。 午睡時は、クラスごとにオルゴール音楽を流したりと、室温調節をして心地良い眠りとなる工夫をしている。 [検討課題] 園庭での固定遊具や遊び道具が少なく、年齢に応じた遊びに支障が視られるので、保育士の工夫や取り組みで、外での遊びや活動が更に豊かになる事を期待したい。		
			■ 7 保育所内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。			
			■ 8 家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。			
■ 9 内装等には、木材を利用している。						
■ 10 一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。						
■ 11 食事や睡眠のための心地よい生活空間が確保されている。						
■ 12 手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫がされている。						
② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	b)	■ 13 子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。	[取り組み状況] 子ども一人ひとりの状態に応じた保育を行うため、月案で予想される子どもの姿、それに対するの援助・配慮事項を記載して取り組んでいる。 また、子どもの個人差を理解し、無理強いはいないように心掛けている。 [検討課題] 子どもを尊重した保育について全職員で話し合い、共通の理解を更に深める事で、一人ひとりの子どもの受容も深まると思われる。			
		■ 14 子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。				
		■ 15 自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。				
		■ 16 子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。				
		■ 17 子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。				
		■ 18 せかす言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしている。				

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	講評
		③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。		b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 19 一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。 ■ 20 基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。 ■ 21 基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。 ■ 22 一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。 ■ 23 基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。 	<p>[取り組み状況] 基本的な生活習慣の習得を年間指導計画や月案に盛り込み、一人ひとりに合わせながらの援助を心掛けている。特に、0、1歳児及び支援児は個別指導計画を立て発達状況等に応じて支援している。そして、子どものやろうとする気持ちを大切に、達成感や喜びとなるようにしている。</p> <p>[検討課題] どの子どもにおいても常に保護者との情報交換を密とし、家庭での生活状況、生活リズムに合わせながら支援する事が期待される。</p>
		④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。		b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 24 子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。 ■ 25 子どもが自発性を発揮できるよう援助している。 ■ 26 遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。 ■ 27 戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。 ■ 28 生活と遊びを通して、友だちなどと人間関係が育まれるよう援助している。 ■ 29 子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。 ■ 30 社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。 ■ 31 身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。 ■ 32 地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。 ■ 33 様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。 	<p>[取り組み状況] 廃材を使つての園別の作品作りや行事に向けての共同活動、縦割りグループでの異年齢との交流、敬老会やお花祭りでの地域の方々との触れ合いの機会など、子どもの主体性・意欲的な活動や経験となるよう取り組んでいる。</p> <p>[検討課題] 制作づくりに必要な材料の充実や空き部屋を活用しての大型の創作活動など、自らしてみようとする気持ちが持てる取り組みや、地域の方と接する豊富な機会の提供、散歩で自然に触れる機会の更なる拡大、充実を期待したい。</p>
		⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 34 0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫がされている。 ■ 35 0歳児が、安心して、保育士等と愛着関係(情緒の安定)が持てるよう配慮している。 ■ 36 子どもの表情を大切に、応答的な関わりをしている。 ■ 37 0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮がされている。 ■ 38 0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。 ■ 39 0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。 	<p>[取り組み状況] 保護者と話し合いながら家庭に近い生活リズムや対策を心掛けている。触れて楽しむ玩具や音の鳴る玩具、探索の箱型など、興味をもてる手作り玩具があり、保育士の工夫が視られる。時には、1歳保育室へ遊びに行ったり、テラスで過ごすなど、気分転換となる時間も提供している。</p> <p>[検討課題] 保育士間での連携や協力でゆとりのある対応、また、保護者と共に成長を喜び合える更なる関係づくりとなる事を期待したい。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	講評
		⑥ 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		b)	<input checked="" type="checkbox"/> 40 一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。 <input type="checkbox"/> 41 探索活動が十分に行えるような環境を整備している。 <input checked="" type="checkbox"/> 42 子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育士等が関わっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 43 子どもの自我の育ちを受け止め、保育士等が適切な関わりをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 44 保育士等が、友だちとの関わりの中立ちをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 45 様々な年齢の子どもや、保育士以外の大人との関わりを図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 46 一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮がされている。	<p>[取り組み状況]</p> <p>一人ひとりの気持ちを受容しながら、身の回りのことを自分でしようとする気持ちを大切にしている。</p> <p>特に、1歳児は個別指導計画を立て、一人ひとりの発達状況に合わせた保育内容となっている。</p> <p>牛乳パックで作った椅子型や手作り玩具が用意され、色々に対応して遊ぶ姿がある。</p> <p>[検討課題]</p> <p>気軽に散歩に出掛けられない状況であるという。せめて広いテラスを活用しての五感刺激となる工夫など、子どもの育つ更なる環境となることを期待したい。</p>
		⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		b)	<input checked="" type="checkbox"/> 47 3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 48 4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 49 5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 50 子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学先の小学校等に伝える工夫や配慮がされている。	<p>[取り組み状況]</p> <p>年齢別指導計画をもとに生活や遊びを通して生活習慣、社会的ルールの習慣が身に付けられるよう取り組んでいる。</p> <p>野菜やひまわり作りを通してのいのちの育ちと恵みへの関わり、行事や活動の協同を通しての達成感や相手を思いやる力など、養護と教育が一体的に展開される内容となっている。</p> <p>[検討課題]</p> <p>自由遊びでのまとまった人数での大型作品作りや、園庭や広場での体力づくりの更なる工夫、また、就学先の学校環境に合わせた取り組みも期待したい。</p>
		⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。		b)	<input type="checkbox"/> 51 建物・設備など、障害に応じた環境整備に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 52 障害のある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連づけている。 <input checked="" type="checkbox"/> 53 計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 54 子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 55 保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 56 必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 57 職員は、障害のある子どもの保育について研修等により必要な知識や情報を得ている。 <input type="checkbox"/> 58 保育所の保護者に、障害のある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。	<p>[取り組み状況]</p> <p>スロープやバリアフリー、身障者用トイレの設置など障がい児に安心な環境が整備されている。</p> <p>支援が必要な子どもには個別指導計画とともに、クラスの指導計画の中で援助や配慮を記載し、クラスの子どもたちと共に育ち合えるよう支援している。</p> <p>また、療育相談や専門機関を通して、関わりや指導方法について専門的なアドバイスを得ている。気になる子どもに対しては保護者に「保育参加」を勧め、集団の中での子どもの様子を見てもらうことで、療育相談へ繋げた例もある。</p> <p>[検討課題]</p> <p>支援が必要な子どもについては、園を利用する保護者全体の理解や配慮が必要であり、その取り組みを期待したい。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	講評
			⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b)	<input checked="" type="checkbox"/> 59 1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 60 家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 61 子どもの状況に応じて、おだやかに過ごせるよう配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 62 年齢の異なる子どもと一緒に過ごすことに配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 63 保育時間の長い子どもに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。 <input type="checkbox"/> 64 子どもの状況について、保育士間の引継ぎを適切に行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 65 担当の保育士と保護者との連携が十分にとれるように配慮している。	<p>[取り組み状況]</p> <p>長時間保育の専用の部屋は2つ用意され、その時の人数や年齢に合わせて別々に過ごしたり、一緒に過ごしている。</p> <p>保育の内容も未満児と以上児で別活動としたり、一緒に過ごす等、豊富な内容となっている。法令の改定でのおやつは保護者の要望に応え、18時以降の子どもには有料で提供している。</p> <p>[検討課題]</p> <p>子どもの情報は申し送り等で情報交換をし、子どもの一日の全体像が把握できる体制を望みたい。</p>
			⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	b)	<input checked="" type="checkbox"/> 66 計画の中に小学校との連携や就学に関連する事項が記載され、それに基づいた保育が行われている。 <input checked="" type="checkbox"/> 67 子どもが、小学校以降の生活について見通しを持てる機会が設けられている。 <input type="checkbox"/> 68 保護者が、小学校以降の子どもの生活について見通しを持てる機会が設けられている。 <input checked="" type="checkbox"/> 69 保育士等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学校との連携を図っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 70 施設長の責任のもとに関係する職員が参画し、保育所児童保育要録を作成している。	<p>[取り組み状況]</p> <p>小学校入学後、保育士が参観や学校関係者と話す機会があり、運動会や一日入学などの行事にも参加している。</p> <p>気になる子どもや支援が必要と思われる時は、学校側から、園に来ていただき話し合う機会を設けている。</p> <p>[検討課題]</p> <p>年間計画の中に、小学校との連携について記載し、見通しを持てる、保育の計画をたてる事を期待したい。</p>
		(3) 健康管理	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	b)	<input checked="" type="checkbox"/> 71 子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。 <input checked="" type="checkbox"/> 72 子どもの体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えるとともに、事後の確認をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 73 子どもの保健に関する計画を作成している。 <input checked="" type="checkbox"/> 74 一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。 <input checked="" type="checkbox"/> 75 既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関わる必要な情報が常に得られるように努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 76 保護者に対し、保育所の子どもの健康に関する方針や取組を伝えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 77 職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。 <input type="checkbox"/> 78 保護者に対し、乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する必要な情報提供をしている。	<p>[取り組み状況]</p> <p>町としての健康に関するマニュアルは作成されており、園で発生した疾病はその都度、園便りで保護者に情報提供している。</p> <p>また、ケガの発生については、保護者に伝え、行政にも報告をしている。未満児は15分おき、以上児は30分ごとにブレスチェックを行い呼吸の確認を行っている。</p> <p>[検討課題]</p> <p>呼吸確認チェック表は実施した確認だけでなく、園児名を記入し検証していくことが、保育の専門性と思われます。</p> <p>また、保護者にも、SIDSについての情報を伝えて行くことも必要と思われる。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	講評
		② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。		b)	<input checked="" type="checkbox"/> 79 健康診断・歯科健診の結果が記録され、関係職員に周知されている。	<p>[取り組み状況] 年間計画では年2回、内科健診、歯科健診が計画されており、健診の結果は家庭に知らせている。治療が必要な子どもには家庭に連絡し、医師の治癒証明書も提出してもらっている。</p> <p>町の歯科衛生士より、歯磨き指導もあり、3歳以上児は食後の歯磨きを行っている。</p> <p>[検討課題] 歯ブラシのチェック、歯磨きの後のチェックなど、細やかな配慮も必要と思われる。歯磨きは1歳ごろから、給食後、保育士が口腔のケアも視野に入れて行うことも必要と思われる。</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 80 健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させ、保育が行われている。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 81 家庭での生活に生かされ保育に有効に反映されるよう、健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝えている。					
		③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。		b)	<input checked="" type="checkbox"/> 82 アレルギー疾患のある子どもに対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。	<p>[取り組み状況] アレルギー対応マニュアルが作成され、医師の指示書も提出してもらっている。</p> <p>また、誤配の無いようにアレルギー専用の配膳棚もあり、年に1回はエビベンの研修を全職員が受けている。</p> <p>[検討課題] アレルギー除去食の子どもがいなくても、常にアレルギー疾患の知識、情報を習得しておく事は必要と思われる。</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 83 慢性疾患等のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 84 保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 85 食事の提供等において、他の子どもたちとの相違に配慮している。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 86 職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要な知識・情報を得たり、技術を習得している。					
	<input type="checkbox"/> 87 他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。					
	(4) 食事	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。		b)	<input checked="" type="checkbox"/> 88 食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置づけ取組を行っている。	<p>[取り組み状況] 食育の年間計画が作成され、0～5歳までの食育目標があり、栄養士による献立が作成されている。</p> <p>また、調理員が、今日の給食の材料の絵をホワイトボードに掲示している。</p> <p>年長、年中児が畑作りをしており、さつまいも、ナス、パプリカ、トマトなどの野菜の生長を楽しみ、地域の方のアドバイスで沢山の収穫もある。</p> <p>[検討課題] 給食の献立をサンプルケースに展示したり、給食材料の産地など掲示すると、保護者も子どもの給食の摂取量なども解りやすく、食育の取り組みも更に理解が深まり、親子の会話も進むと思われる。</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 89 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 90 子どもの発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 91 食器の材質や形などに配慮している。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 92 個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 93 食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるよう援助している。					
	<input checked="" type="checkbox"/> 94 子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。					
	<input type="checkbox"/> 95 子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。					

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	講評
			② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 96 一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮した、献立・調理の工夫をしている。 ■ 97 子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。 ■ 98 食事の内容は、県産の農畜産物等を利用したもとしている。 ■ 99 残食の調査記録や検食簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。 ■ 100 季節感のある献立となるよう配慮している。 ■ 101 地域の食文化や行事食などを取り入れている。 ■ 102 調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。 ■ 103 衛生管理の体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われている。 	<p>[取り組み状況]</p> <p>年2回、町の栄養士が全園児の身長、体重の増減のチェックをして、発育状況の検証を行っている。</p> <p>栄養士から毎日の献立に対する「給食の一言」の説明があり、子どもへの食事支援に役立てている。</p> <p>また、ホテル井やハロウィン献立などの行事食など、子どもの喜ぶメニューもある。</p> <p>なお、調理員が子ども給食と一緒に食べる事もある。</p> <p>[検討課題]</p> <p>全園児の家庭に「おいしくたべよう」ニュースとして栄養士が食育について発信しており、保護者の食育に対する理解の深まりを期待したい。</p> <p>なお、未満児の午前のおやつメニューの見直しなどは必要と思われる。</p>
	2 子育て支援	(1) 家庭との緊密な連携	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 104 連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。 ■ 105 保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。 ■ 106 様々な機会を活用して、保護者と子どもの成長を共有できるよう支援をしている。 □ 107 家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。 	<p>[取り組み状況]</p> <p>連絡帳に子どもの様子を記載して保護者との子どもの成長を共有している。また、園便りや参観日などで日頃の子どもの姿を理解してもらっている。</p> <p>年中、年長児の保護者に保育参加の機会があり、希望者は昼食まで保育体験をして、子どもの様子を知り好評である。</p> <p>1～2ヶ月ごとにクラス便りで園での子どもの姿を知らせたり、ホワイトボードで連絡事項を知らせている。</p> <p>[検討課題]</p> <p>連絡帳に書く内容など、職員間でバラツキの無いような取り組みが必要と思われる。</p> <p>また、クラス便りなどには子どもの活動でのエピソードを知らせるような取り組みが期待される。</p>
		(2) 保護者等の支援	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 108 日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築くよう取組を行っている。 ■ 109 保護者等からの相談に応じる体制がある。 ■ 110 保護者の就労等の個々の事情に配慮して、相談に応じられるよう取組を行っている。 □ 111 保育所の特性を生かした保護者への支援を行っている。 □ 112 相談内容を適切に記録している。 ■ 113 相談を受けた保育士等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。 	<p>[取り組み状況]</p> <p>園便りをおとして、気になる事などの相談可能と保護者に知らせたり、懇談会をもうけている。</p> <p>気になる子どもの保護者とは、降園の際のコミュニケーションに努めている。</p> <p>[検討課題]</p> <p>専門集団において、相談が無いことが良い事なのか、保育者八か条の理解を深める取り組みが期待される。</p> <p>なお、保護者との相談内容、日時、対応者などの記録は必要との意識を持ちたいものである。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	講評
		② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。		b)	<input checked="" type="checkbox"/> 114 虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの心身の状態、家庭での養育の状況について把握に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 115 虐待等権利侵害の可能性があると職員が感じた場合は、速やかに保育所内で情報を共有し、対応を協議する体制がある。 <input type="checkbox"/> 116 虐待等権利侵害となる恐れがある場合には、予防的に保護者の精神面、生活面の援助をしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 117 職員に対して、虐待等権利侵害が疑われる子どもの状態や行動などをはじめ、虐待等権利侵害に関する理解を促すための取組を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 118 児童相談所等の関係機関との連携を図るための取組を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 119 虐待等権利侵害を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。 <input type="checkbox"/> 120 マニュアルにもとづく職員研修を実施している。	<p>[取り組み状況]</p> <p>毎日、登園の際には子どもの表情、衣服など注意して視診を行い、身体測定やプールの時なども注視して観察している。</p> <p>気になる家庭には声をかけて様子をみたり、職員間で共有して把握に努めている。そして、対応の必要な家庭には行政に相談する仕組みとなっている。</p> <p>[検討課題]</p> <p>虐待についてだけでなく、研修修了後は研修内容を全職員に理解を広げ、園全体のものとする取り組みが必要と思われる。</p> <p>なお、子どもの権利、虐待の背景、予防などの研修も必要と思われる。</p>
	3 保育の質の向上	(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b)	<input checked="" type="checkbox"/> 121 保育士等が、記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの保育実践の振り返り(自己評価)を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 122 自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や取り組む過程に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 123 保育士等の自己評価を、定期的に行っている。 <input type="checkbox"/> 124 保育士等の自己評価が、互いの学び合いや意識の向上につながっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 125 保育士等の自己評価にもとづき、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。 <input type="checkbox"/> 126 保育士等の自己評価を、保育所全体の保育実践の自己評価につなげている。	<p>[取り組み状況]</p> <p>期案、月案、週案、日誌で日々の保育の振り返りを行っている。また、新任保育士は、園長との懇談もある。</p> <p>[検討課題]</p> <p>日々の保育の反省と振り返りが、子どもの発達と成長につながるとの意識を高めて、どんな子どもに育て欲しいか、子どもが主体となる保育が更に期待される。</p>